

燈會社常務取締役下出民義氏は、電燈の副業として電氣應用化學工業を開始せんとて熱心に唱道し、一昨年末總會の容るゝ所となり定款の變更をなしたるに付、爾來電氣技師寒川工學士を歐米に派遣して各方面の調査をなさしめたる結果、特種鋼アルミニウム杯の製造を開始せんとしたるも、其後輕銀は日本輕銀會社の設立を見るに至りたれば、同會社には唯電力を供給するに留め、電燈會社は主として炭素鋼特種合金鐵の製造をなすに決し、昨年末其機械の購入をなすと共に、八幡製鐵所技師たる内山繁氏を聘し、寒川技師と共に本年一月八日より試験に着手し、先づ硅素鐵に於て満足なる結果を得たれば、本月六日より更にタングステン^①の試験に着手する筈、近時タングステン合金は一噸一萬五千圓餘に暴騰し、原料も岐阜方面に豊富なれば極めて有望なりと云ふ、同社購入の熔爐は一噸半を製造し得らるゝものにして、晝夜兼行せは一日に五六噸の製造をなし得るより、戰時中の供給は勿論戰後に於ては從來の輸入を防遏し得る見込なりと。

●米國の製銑高

米國は從來世界に於ける製鐵國の羈者にして、世界の總産額壹億二千萬噸中約三千萬噸を産出したるしか、先年製鐵ツラストの弊漸次顯著となりて産額減少し、業務の不振其極に達し利益は其生産費を償ふに足らざりしか、歐洲大戰勃發するや鐵類の需用一時に起り、從來の高爐丈けにては到底交戰各國の需用に應ずること能

はざるに至りたるを以て、鎔鑛爐の増設又は新設さるゝもの多く、昨年中に於ける其數は實に九十三基に達し、總産額三千萬噸に上りたるか本年一月以降の狀況は、昨年に比し猶一層の好況にして今日の割合を以て進まんか、本年中に於ける總産額は約四千萬噸に上る可き形勢なり。

●米國製銑高と本邦との比較（一ケ年と一晝夜）

去る五月九日歸朝したる川村三菱製鐵所技師は米國製鐵事業の現況に就て語りて曰く、米國各所の製鐵工場は目下世界各國からの大注文で、晝夜兼行の大多忙であるか、其仕事の掛取る事は驚く計りて、例へば我國ならば製造に正に一ケ年は掛る鐵を、僅か一晝夜の中に拵へて了ふなと只々感嘆の外はない、大冶製鐵所から注文した一日鐵か四百噸宛出來る筈の鎔鑛爐二基は、目下米國で作へて居るか是か出來たら我國でも、此一大冶製鐵所からても一日八百噸宛の銑鐵か出來る事になる云々。

●神戸製鋼染料製出

神戸鈴木商店の經營に係る神戸製鋼所にては楠瀬工學士主任となりてナフタリンより染料の製出を研究中なりし所、精製品を得るに至りしより今回赤色黄色褐色の三種を發賣する事となり其數量は多からざるも順次擴張する計畫なりと。

●電氣製鐵業勃興

從來我國に於ては、電氣動力に依る製鐵事業に成功せる者少かりしも、歐洲戰亂以來鐵價暴騰して、鋼鐵の如き中には平時の七八倍、即ち一噸一萬

二三千圓に達せるものあり、又フエロタンクスステンも、平時噸三千圓のもの、目下一萬五千圓以外に奔騰せるより、大膽に之れか試験製造に着手する者少からず、而も其の成績意外に良好にして、就中櫻田幸雄氏等の日本電氣製鐵所は、既に

▲二噸の銑鑪 一臺を以て銑鐵、同上二臺を以て鋼鐵を製造し三百キロの電力にて日に十八噸宛市場に出しつゝあり、又た名古屋電燈の製鋼部も寒川恒定氏苦心の結果、工場機械等悉く竣成し、七月より製品を賣出すこととなり、電力一千キロにて合金鐵四五噸特種鋼千四五噸の生産を爲す筈にて、孰れも陸海軍其他各方面より引合續々來り、是等の纏まれる注文にて殆んど手一杯となるへき模様也、尙ほ此外にも合金鐵の製造計畫としては、藤田組か三千キロの動力を以て、從來餘り顧みられざりし硫化鐵鑪の使用に成功せんとしつゝあり、特種鋼は土橋、最も早く安來、米子の各製鋼所孰れも全能力を以て之れか製造に従事し居れるか、是等の能力は全體にて

▲月五噸内外に 過ぎざる模様なれば、前記日本電氣製鐵及び名電製鋼部の營業開始は需要界に多大の便宜を興ふる事となるへし、更に又た我國には水力電氣起工に適する河川は到る所にあり、小鐵山亦た諸所に散在せるか、若し之を從來の如く製鐵所のみにて製造するものとせば、依然鑛石運搬其他に就き非常の手續を要し、到底製鐵事業の勃興

を期すへからざるも、水力電氣を利用する方法發達せんか、其の事業經營に於て十分收支相償ふ事を得べく、殊に其需要は平時と雖も合金鐵、特殊鋼とも五六千噸にては供給尙ほ足らざるに加へ、其の販路も世界的なれば、今後は等の電氣製鐵業は益す有望なると同時に、其事業は漸次勃興するに至るへしと云へり。

●工業試験所の鐵材檢定開始 農商務省直轄工業試験所の擴張新事業たる鐵材檢定は家屋の新築既に完了し、當初米國に注文したる機械十臺も時局の爲め船腹の都合上此程に至り漸く六臺丈到着目下据付中なれば準備出來次第愈事業を開始すべく、檢定能力は約百噸迄にして同試験所は常時試験的檢定を行ふ外希望により民間の檢定申請に應ずる筈なるか、該檢定料は追て勅令を以て公布せらるへし尙同所は右の外電氣化學染織試験材料等をも擴張し準備整頓次第實行の筈なり。

●伊國鋼鐵材生産調節

伊國に於ける鋼鐵其他金屬材生産に對する調節策に關し林大使より左の如く報告ありたり。

本年三月三十日附勅令第三七〇號を以て伊國政府は自國に於て金屬材を製造産出する工場に對し一層嚴重なる監督を施行し其生産を調節する外製造品の分配を爲し、且該金屬材の賣買に關しては政府に於て之を認可すると爲り其價格に關しても亦政府に於て時々之か制定を爲すこと爲れ